

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 身近な道路の整備	② 施策番号	5105
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 道路の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	道路課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市管理道路・道路利用者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	道路内への占用申請等の適正な審査を行うと共に、認定道路を含む生活道路等の維持補修や改良を行う事により利用者の安全性・利便性を向上させる。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態、今後どのように変化していくと考えられるか)	官理道路の延長は、開発等により年々増加傾向にあるが、限られた予算の中では中々すべてに対応しきれないのが現状である。しかしながら、昨今、道路整備に対する市民ニーズとしては年々高くなってきており、きめ細やかな維持管理をしていかなければならない状況である為、維持に対する補助として大阪府と連携し国への働きかけをしていかなければならない。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 補修要望処理件数 計算式: 処理対応件数 / 補修要望件数	件	道路維持に対する市民ニーズ、需要を推し量れると共に予算に対しての処理数の把握。
② 当該年度整備率 計算式: 処理件数 / 申請件数	%	年間申請件数が多大であり、処理に多大な時間を要し人件費に大きく反映する為。
③ 道路台帳整備延長 計算式:	km	更新延長と確実な台帳整備の更新状況。

指標名	単位	実績					R1見込	R2目標	備考
		H28実績	H29実績	H30実績	目標値	実績値			
① 補修要望処理件数	件	95	88	88	目標値	95	—	—	
		135	82	86	実績値	135	—	—	
		142.1%	93.2%	97.7%	達成率	142.1%			
② 当該年度整備率	%	202	330	41	目標値	202	—	—	
		202	330	41	実績値	202	—	—	
		100.0%	100.0%	100.0%	達成率	100.0%			
③ 道路台帳整備延長	km	213	213	213	目標値	211	—	—	
		211	211	213	実績値	211	—	—	
		99.1%	99.1%	100.0%	達成率	99.1%			

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性		
1 道路維持管理事業	要望に係る処理件数	件	82	86	—	114,000	69,051	77,303	B	イ	b	◎
2 道路新設改良事業	整備率	%	100	100	—	30,435	33,176	16,778	A	ア		○
3 道路台帳整備事業	整備延長	km	211	213	—	4,713	4,888	5,128	B	イ	a	○
4												
5												
6												
7												
8												
計	3					149,148	107,115	99,209				

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	補修、改良を行う事により利便性の向上が図れると共に安全の確保にも繋がり市民生活を守る道路整備を行う。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	限られた予算の中で高まる市民ニーズへの対応をしている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	利用される方々や団体の協力を得ながら、官で整備すべきものであり適切であると考えられる。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	維持と改良の双方の事務事業を行う事により成り立っており適正な事業である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	双方の事務事業を行う事により成り立っている施策であるが、今後も安全な道路維持を重点事業として行っていく。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	高まる市民ニーズに対応するための予算確保。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	緊急度の高いものから取り組む。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	優先順位を考慮し計画的に対応を行う。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	長期的な計画に基づく維持管理を行う。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	身近な道路の整備について適切に取組が進められている。 引き続き、優先順位づけによる計画的な維持補修を進められたい。	